

[ 解答 ]

北半球では、低緯度の貿易風、中緯度の偏西風によって、時計回りの循環が形成されている。これが亜熱帯環流と呼ばれる流れで、日本付近を北上する黒潮もこの一部を形成している。また、黒潮やメキシコ湾流のように大洋の西岸（大陸から見ると東岸になる）の流れは幅が狭いため、強い流れとなっている。

また、密度が大きくなるとあるため、塩分濃度は増すことがわかる。 肢2

---

[ ポイント ]

ウを除くと完全な知識問題です。ただし、ウは知識がなくとも解くことができ、しかも2択に絞ることができます。